

短期大学生の敬語認識と敬語表現

—保育科学生のアンケート調査から—

皆川 晶

The Recognition and Expression of Honorifics Among Junior College Students

—From the Questionnaire Survey of Nursery Department
Students—

Aki Minagawa

Abstract

I researched asking students their self-recognition concerning their wording and honorifics. Additionally, I asked them the correct / wrong of how to use the honorifics they will use at the scene of nursery, and their confidence for their answers. As a result, they experienced the difference of impression among people by their necessity of honorifics and wording, through a college life or part-time working. We found that one is speaking worried about one's own wording, and anxious about the other.

Keywords : wording, honorifics, confidence, self-knowledge as a nursery

1. はじめに

大学生は流行に敏感であり、言語感覚も優れている。大学生活や SNS などを通して、言語経験を積み重ねていくなかで、大学生特有の言い回しや語彙を持ち、それと同様の話し方で教員に話しかけてくる学生もいる。さらにアルバイトの経験により、社会人との言語体験を重ねつつ、学生という環境の中で、言葉の楽しさや難しさを感じているようである。

保育科の学生が目指している保育者は、子どもに適切な援助をすることのほかに、子育てに不安や悩みを持つ保護者の相談を受ける保護者支援の役割も担っている。それに対応するには、保育の専門知識はもちろんのこと、保護者と円滑なコミュニケーションをとるために、保育者自身の言葉遣いや敬語の使い方が問題となってくる。普段の学生の言葉遣いを聞いていると、社会人として、保育者として、適切な言葉遣いや敬語が使えるのかと不安になってくる。言葉遣いも経験も大人への過渡期である学生に、敬語についてのアンケート調査を行い、言葉遣いに関する学生の現状と敬語認識を探る。

2. 調査にあたって

(1) 調査の実施と対象者

2020年6月本学保育科1年生（「保育科基礎演習」受講者）51名、2年生（「『言葉』指導法」受講者）53名、計104名に対して記述式の調査を行った。

(2) 調査内容

① あなたの言葉についてお尋ねします。

- ① 言葉遣いで人の印象は変わると思いますか。
- ② ①で「はい」と答えた人は、そのように思う理由を教えてください。
- ③ ①で「いいえ」と答えた人は、そのように思う理由を教えてください。
- ④ 人と話すときに気をつけていることはありますか。
- ⑤ ④で「ある」と答えた人は、どのようなことに気をつけていますか。
- ⑥ 自分の言葉遣いは丁寧だと思いますか、荒っぽいと思いますか。
- ⑦ ⑥で「どちらかといえば丁寧」と答えた人は、なぜそのように思うのですか。
- ⑧ ⑥で「どちらかといえば荒っぽい」と答えた人は、なぜそのように思うのですか。
- ⑨ 必要に応じて敬語を使っていますか。
- ⑩ 敬語をうまく使えていると思いますか。
- ⑪ ⑩で「はい」と答えた人は、なぜそのように思うのですか。
- ⑫ ⑩で「いいえ」と答えた人は、なぜそのように思うのですか。

② 次の下線の部分の敬語表現が適切であれば○、適切でなければ×を記入し、さらに、適切でない部分は正しい敬語表現に直してください。また、それらの答えに対する自信度（自信がある→A、やや自信がある→B、やや自信がない→C、自信がない→D）も記入してください。

※ 設問内容は「3. 調査結果の概要（3）敬語の正誤と自信度について」に記載する。

※ 設問の文例は、保育の現場で使うであろう場面を想定して作成した。

3. 調査結果の概要

(1) 言葉についての意識

「言葉遣いで人の印象は変わると思いますか」(①①)という問いに対して、1年生・2年生の全員が「はい」と答えた。そう思う理由(①②)としては、言葉遣いが悪いと「印象が悪い」「怖く感じる」「信用性に欠ける」「周りから冷たい目で見られる」「品がない人に見られる」と33.6%が答えた。反対に、言葉遣いが丁寧だと「やさしい人に見える」「しっかりしているように見える」「礼儀正しく見える」「周囲からの評価が高くなる」「品がよく見える」と25.7%が答えた。さらに、言葉遣いで「育った環境がわかる」「その人の性格がでる」

「人を判断される」といった人格等の判断材料になると 21.2%が答えた。

「人と話すときに気をつけていることはありますか」(1④)という問いに対して、1年生の 88.2%、2年生の 88.7%が「ある」と答えた。気をつけていること (1⑤)は、「敬語を使う」「丁寧に話す」「相手のことを考えて話す」「失礼のないように言葉を選ぶ」というのが 37.7%、「人が傷つくことは言わない」「汚い言葉は使わない」「言われて嫌なことは言わない」というのが 23.6%で、話すときの態度として「失礼のないように」「礼儀正しく」するが 19.8%、「相手の目を見ながら話す」「相手と同じ目線で話す」「相づちを打つ」が 14.2%であった。これらから、相手に失礼のないように、考えて話していることがわかった。

「自分の言葉遣いは丁寧だと思いますか、荒っぽいと思いますか」(1⑥)という問いに対して、「どちらかといえば丁寧」と答えたのは 1年生が 47.0%、2年生が 43.4%であった。そのように思う理由 (1⑦)として、約 8割が「言葉などを選んで話している」「相手のことを考えて話している」「相手が傷つくようなことは言わない」と相手を意識した言葉遣いをしているからと答えた。「どちらかといえば荒っぽい」と答えたのは 1年生が 51.0%、2年生が 56.6%であった。そのように思う理由 (1⑧)としては、42.5%が「方言を使うから」と答えており、本学に通う学生の使う方言は口調の強い特徴があることから、学生も方言を使うこと自体が「荒っぽい」と感じているようだ。さらに、「言葉が乱暴だから」「口調が強いから」が 31%、14.2%が「感情のままに話すから」と答えた。

以上のように、自分の言葉遣いはどちらかといえば荒っぽいと思っている学生がわずかに多いが、言葉から得られる印象の影響は大きいととらえており、人と話すときは相手のことを考えながら、相手を意識した言葉遣いをしていることがわかった。

(2) 自分の敬語の使い方ととらえ方

「必要に応じて敬語を使っていますか」(1⑨)という問いに対して、1年生の 96%、2年生の 98%が「はい」と答えた。「敬語をうまく使えていると思いますか」(1⑩)という問いに対して、1年生は 41.1%が「はい」、56.9%が「いいえ」、2年生は「はい」「いいえ」はともに 49%であった。

うまく使えていると思う理由 (1⑪)として、「親から教わったから」は 7.6%と少なく、「国語の授業で敬語を教わったから」は 21.7%であった。31.5%が「年上の人とよく話すから」、18.5%が「アルバイト先で敬語を教わったから」、「高校の部活動で教わったから」が 8%であった。教えてもらうという受け身からの習得よりも、実際の生活の場面で必要に応じた実践の中で身につけてきたと考えられる。うまく使えていないと思う理由 (1⑫)として、67.7%が「敬語は難しいから」、16.1%が「正しい敬語を使えているかわからないから」と答えた。

以上のように、国語の授業やアルバイト、部活動など人との関わりから敬語を学び、必要に応じて敬語を使っているが、実際に使っているからこそ、正しい敬語表現が使えているのかわからず、「敬語は難しい」と感じていることがわかった。

(3) 敬語の正誤と自信度について

20 問の敬語表現の設問について正誤を尋ねた。その得点や平均点は以下のとおりである。

	最高点 (20 点中)	最低点 (20 点中)	平均点
1 年生	17 点	7 点	12.55 点
2 年生	18 点	6 点	12.68 点

最高点や最低点に加え平均点を比べると、1 年生と 2 年生には特に大きな違いはなかった。2 年生はこれまでに、保育園などに実習に行っており、授業では敬語の必要性などを学んでいるため、1 年生よりも平均点が高くなると予想していたが、大差はなかった。

さらに、本学は、高等学校を卒業後すぐに入学する学生がほとんどであるが、中には社会人として働いた経験のある学生 (20 代から 40 代の 15 名) もいることから、社会人の経験がある学生と未経験の学生には、今回の調査に大きな差がでると予想した。結果としては、社会人経験のある学生の最低点は 8 点、最高点は 18 点であった。平均点を比較すると、社会人経験のある学生は 13.53 点、未経験学生は 12.46 点であり、1.07 点の差であった。

以上のことから、敬語表現について正誤の判断は、社会人としての経験の有無はさほど関係のないことがわかった。未経験の学生もアルバイトをとおして社会に触れた言語体験をしているので、大差のない結果になったと考えられる。

次に、1 問ずつの正誤と自信度を見ていく。

① 園長先生はおられますか。

	正 誤	自信度					
		A	B	C	D	記入なし	
1 年	○	11 名 (21.6%)	2 名	7 名	2 名	0 名	0 名
	×	40 名 (78.4%)	9 名	16 名	15 名	0 名	0 名
	回答なし	0 名					
2 年	○	6 名 (11.3%)	2 名	2 名	2 名	0 名	0 名
	×	47 名 (88.7%)	19 名	19 名	7 名	0 名	2 名
	回答なし	0 名					

② 園長先生がおっしゃられる。

	正 誤	自信度					
		A	B	C	D	記入なし	
1 年	○	28 名 (54.9%)	3 名	8 名	12 名	3 名	2 名
	×	23 名 (45.1%)	5 名	4 名	10 名	4 名	0 名
	回答なし	0 名					

2 年	○	32名 (60.4%)	2名	15名	9名	2名	4名
	×	20名 (37.7%)	5名	8名	6名	1名	0名
	回答なし	1名 (1.9%)					

③ 飯塚先生は連絡帳を拝見しましたか。

	正 誤	自信度					
		A	B	C	D	記入なし	
1 年	○	23名 (45.1%)	2名	10名	5名	3名	3名
	×	27名 (52.9%)	4名	8名	15名	0名	0名
	回答なし	1名 (2%)					
2 年	○	25名 (47.2%)	6名	9名	8名	1名	1名
	×	27名 (50.9%)	8名	8名	10名	0名	1名
	回答なし	1名 (1.9%)					

④ 飯塚先生から本を拝借する。

	正 誤	自信度					
		A	B	C	D	記入なし	
1 年	○	36名 (70.6%)	2名	15名	11名	6名	2名
	×	11名 (21.6%)	1名	4名	3名	2名	1名
	回答なし	4名 (7.8%)					
2 年	○	43名 (81.1%)	9名	12名	12名	5名	5名
	×	9名 (17%)	0名	5名	2名	2名	0名
	回答なし	1名 (1.9%)					

⑤ 飯塚先生は福岡のご出身でございますか。

	正 誤	自信度					
		A	B	C	D	記入なし	
1 年	○	26名 (51%)	1名	6名	10名	5名	4名
	×	24名 (47%)	4名	5名	11名	4名	0名
	回答なし	1名 (2%)					
2 年	○	29名 (54.7%)	3名	7名	13名	3名	3名
	×	23名 (43.4%)	6名	5名	8名	2名	2名
	回答なし	1名 (1.9%)					

⑥ 入園式に来賓がご出席になる。

	正 誤		自信度				
			A	B	C	D	記入なし
1 年	○	28名 (54.9%)	4名	7名	13名	3名	1名
	×	22名 (43.1%)	2名	6名	13名	1名	0名
	回答なし	1名 (2%)					
2 年	○	27名 (50.9%)	6名	3名	9名	5名	4名
	×	25名 (47.2%)	1名	11名	12名	1名	0名
	回答なし	1名 (1.9%)					

⑦ はじめまして、りす組担任の飯塚と申し上げます。

	正 誤		自信度				
			A	B	C	D	記入なし
1 年	○	3名 (5.9%)	0名	0名	3名	0名	0名
	×	47名 (92.1%)	13名	21名	10名	3名	0名
	回答なし	1名 (2%)					
2 年	○	7名 (13.2%)	0名	2名	2名	1名	2名
	×	46名 (86.8%)	14名	21名	8名	0名	3名
	回答なし	0名					

⑧ 保護者のみなさん、どうぞ座ってください。

	正 誤		自信度				
			A	B	C	D	記入なし
1 年	○	1名 (2%)	0名	0名	1名	0名	0名
	×	49名 (96%)	13名	22名	12名	2名	0名
	回答なし	1名 (2%)					
2 年	○	4名 (7.5%)	1名	2名	0名	0名	1名
	×	49名 (92.5%)	18名	16名	12名	0名	3名
	回答なし	0名					

⑨ 私が保護者にご説明します。

	正 誤		自信度				
			A	B	C	D	記入なし
1 年	○	25名 (49%)	3名	11名	8名	3名	0名
	×	25名 (49%)	4名	13名	6名	2名	0名

	回答なし	1名 (2%)					
2 年	○	26名 (49.1%)	6名	10名	8名	0名	2名
	×	27名 (50.9%)	4名	10名	10名	1名	2名
	回答なし	0名					

⑩ 保護者に連絡先をお聞きになる。

	正 誤	自信度					
		A	B	C	D	記入なし	
1 年	○	14名 (27.5%)	0名	5名	6名	1名	2名
	×	37名 (72.5%)	6名	16名	12名	2名	1名
	回答なし	0名					
2 年	○	16名 (30.2%)	2名	3名	7名	1名	3名
	×	36名 (67.9%)	13名	8名	10名	3名	2名
	回答なし	1名 (1.9%)					

⑪ 主任に明日の予定をお話する。

	正 誤	自信度					
		A	B	C	D	記入なし	
1 年	○	38名 (74.5%)	3名	14名	18名	3名	0名
	×	11名 (21.6%)	1名	7名	1名	2名	0名
	回答なし	2名 (3.9%)					
2 年	○	41名 (77.3%)	8名	10名	13名	3名	7名
	×	11名 (20.8%)	3名	5名	2名	0名	1名
	回答なし	1名 (1.9%)					

⑫ 私もその件はご存じです。

	正 誤	自信度					
		A	B	C	D	記入なし	
1 年	○	10名 (19.6%)	1名	4名	4名	1名	0名
	×	39名 (76.5%)	8名	17名	12名	1名	1名
	回答なし	2名 (3.9%)					
2 年	○	13名 (24.5%)	2名	1名	6名	1名	3名
	×	40名 (75.5%)	12名	17名	7名	1名	3名
	回答なし	0名					

⑬ 園長先生が今後の方針についてお話しになった。

	正 誤		自信度				
			A	B	C	D	記入なし
1 年	○	28名 (54.9%)	3名	8名	13名	3名	1名
	×	22名 (43.1%)	0名	8名	13名	1名	0名
	回答なし	1名 (2%)					
2 年	○	36名 (67.9%)	4名	10名	14名	3名	5名
	×	16名 (30.2%)	2名	5名	7名	1名	1名
	回答なし	1名 (1.9%)					

⑭ 飯塚先生は、会議の資料はお読みしましたか。

	正 誤		自信度				
			A	B	C	D	記入なし
1 年	○	6名 (11.8%)	1名	2名	2名	1名	0名
	×	45名 (88.2%)	8名	10名	23名	4名	0名
	回答なし	0名					
2 年	○	7名 (13.2%)	1名	1名	3名	1名	1名
	×	45名 (84.9%)	8名	15名	16名	3名	3名
	回答なし	1名 (1.9%)					

⑮ 後片付けは私がやります。

	正 誤		自信度				
			A	B	C	D	記入なし
1 年	○	31名 (60.8%)	3名	12名	9名	5名	2名
	×	19名 (37.2%)	4名	6名	8名	1名	0名
	回答なし	1名 (2%)					
2 年	○	19名 (35.8%)	4名	7名	4名	2名	2名
	×	34名 (64.2%)	7名	13名	10名	3名	1名
	回答なし	0名					

⑯ 飯塚先生は、この本をお読みにられましたか。

	正 誤		自信度				
			A	B	C	D	記入なし
1 年	○	36名 (70.6%)	4名	9名	18名	2名	3名
	×	14名 (27.4%)	2名	4名	6名	2名	0名

	回答なし	1名 (2%)					
2 年	○	30名 (56.6%)	4名	13名	10名	2名	1名
	×	22名 (41.5%)	2名	7名	9名	2名	2名
	回答なし	1名 (1.9%)					

⑰ 飯塚先生がコーヒーをいただいている。

	正 誤	自信度					
		A	B	C	D	記入なし	
1 年	○	21名 (41.2%)	4名	6名	9名	0名	2名
	×	29名 (56.8%)	3名	11名	12名	3名	0名
	回答なし	1名 (2%)					
2 年	○	24名 (45.3%)	1名	8名	6名	5名	4名
	×	28名 (52.8%)	10名	3名	12名	1名	2名
	回答なし	1名 (1.9%)					

⑱ 福岡さんと申される方が園長先生を訪ねてきていらっしゃいます。

	正 誤	自信度					
		A	B	C	D	記入なし	
1 年	○	19名 (37.2%)	0名	7名	8名	2名	2名
	×	32名 (62.8%)	7名	10名	13名	2名	0名
	回答なし	0名					
2 年	○	26名 (49.1%)	4名	5名	9名	4名	4名
	×	27名 (50.9%)	8名	5名	9名	3名	2名
	回答なし	0名					

⑲ 保護者がバザーに参加される。

	正 誤	自信度					
		A	B	C	D	記入なし	
1 年	○	41名 (80.4%)	4名	13名	17名	3名	4名
	×	9名 (17.6%)	2名	3名	3名	2名	0名
	回答なし	1名 (2%)					
2 年	○	40名 (75.5%)	6名	13名	11名	4名	6名
	×	12名 (22.6%)	2名	1名	5名	4名	0名
	回答なし	1名 (1.9%)					

⑳ 卒園の記念品を出口でいただいてください。

	正 誤		自信度				記入なし
			A	B	C	D	
1 年	○	31名 (60.8%)	3名	13名	10名	4名	1名
	×	19名 (37.2%)	3名	8名	7名	0名	1名
	回答なし	1名 (2%)					
2 年	○	32名 (60.4%)	2名	8名	10名	8名	4名
	×	20名 (37.7%)	3名	8名	7名	0名	2名
	回答なし	1名 (1.9%)					

敬語表現の正誤を決めた自信度については、解答の正解、不正解に関わらず、全体的に見ると、「自信がある」「やや自信がある」と答えたのは、1年生が51.5%、2年生は57.7%であった。「自信がない」「やや自信がない」と答えたのは、1年生が48.5%、2年生は42.3%であった。自分の解答に自信のある学生の方が多かった。

「敬語をうまく使えていると思いますか」(①⑩)という問いで「いいえ」と答えた55名の、②の敬語表現の解答に対する自信度に注目してみた。敬語をうまく使えていないと思っているので、20問に対する自信度も低いと予想した。20問の中で「自信がない」「やや自信がない」だけを答えたのは2名のみで、他53名は「自信がある」は少なかったものの、20問に対する自信度は、「敬語をうまく使えていると思いますか」(①⑩)という問いで「はい」と答えた学生たちとの大きな違いはみられなかった。実際に自分が敬語をうまく使えているかという自信度と、敬語の設問に対する答えについての自信度とは違うことがわかった。

(4) 敬語認識と敬語表現について

②の設問について、正解率が約9割と高かったのは、⑦の「申し上げます」、⑧の「座って」であった。①の「おられ」、④の「拝借する」、⑩の「お聞きになる」、⑪の「お話しする」、⑫の「ご存じです」、⑬の「参加される」は、7～8割にかけての正解率であった。正解率の低かった設問は、⑯の「お読みになられ」が34.5%、⑳の「いただいて」が37.5%であった。

①の「おられますか」の「おられる」という表現に対して、文化庁「国語に関する世論調査」¹⁾では、「総務課の武田さんは、どちらにおられますか」の表現について、58.3%が「正しく使われていると思う」と答えた。また、「おられる」について、尾崎(2009)によると、「おる」は襟を正してかしこまって話しているようなニュアンスが感じられるが、その行為者を低めるニュアンスも伴うので、それを解消するために尊敬語「れる」をつけてでき、今では尊敬語の表現のひとつと意識される傾向が強い²⁾という。これらのように、「おられる」は尊敬語として使われているが、従来の規範から考えて、「居る」という動作・状態の主体を高くする直接尊重語である「いらっしゃる」を正解とした。本設問では、1年生の約8割、

2年生の約9割が×と答え、正しい敬語表現として96.5%が「いらっしゃいますか」と答えた。この結果は、「国語の授業」から得た知識による解答であると考えられる。

②の「おっしゃられる」と⑩の「お読みになられ」は二重敬語であり、過剰な敬語であるが、どちらも半数以上が正解だと答えた。

⑥の「ご出席になる」、⑨の「ご説明します」、⑱の「申される」、⑳の「いただいて」については、尊敬語と謙譲語の区別が明確についていないことがわかった。③の「拝見する」は謙譲語なので不正解である。正しくは、尊敬語の「ご覧になり」であるが、答えられたのは34%であった。×と答えた学生の中で正しい敬語表現として「拝見なされ」「拝見され」「拝見いたし」などがあった。同様に、⑭の「お読みし」でも正しい敬語表現として、「拝見され」「拝読し」「拝読され」と答えていた。「拝」が謙譲の意味を表す表現であることを理解していない学生が多いことがわかった。⑰の「いただいて」は謙譲語なのだが、「いただく」が尊敬語なのか謙譲語なのか区別がついていない学生が多かった。

⑮の「やります」は、1年生と2年生で正誤の割合が反対になった。1年生の約6割が○と答え、2年生の約6割が×と答えた。「やる」の意味として、広辞苑では「行う」「する」のやや口語的な言い方³⁾とある。「する・行う」の意味として、「勉強をやる」「アルバイトをやる」などとよく使う。さらに「ます」という丁寧語をつけているので、「やります」は適切な敬語表現であると考えたのであろう。しかし、1年生・2年生ともに×と答えた学生は、適切な表現として85.1%が「します」「行きます」「いたします」と答えた。

⑤の「ございます」は丁寧語であるので、相手のことに使うのは適切ではないので「いらっしゃいます」という尊敬語が適切であるが、解答はほぼ半数に分かれ、正誤の判断をつけるのが難しかったようだ。×とした学生は、「しょうか」「あられますか」「いられますか」と挙げており、適切な表現を考えるのに苦心したようである。

⑬の「お話しになった」は尊敬語として正しい表現だが、×と答え、正しい敬語表現として「話された」「お話しなさった」があった。「話す」の尊敬語には、「話される」「お話しになる」「お話しなさる」「お話しくださる」などがある。表現は幾通りもあること、話す相手や場面よっての使い分けができることの判断が身につけていないと考えられる。

以上のように、敬語表現の正誤を尋ねた設問について、全体的に正解率は63.1%であった。この結果から、敬語に対する認識や表現もある程度身につけているが、敬語表現の使い分けなど知識を整理することが必要であると考えられる。

4. まとめ

文化庁の調査⁴⁾で「きちんとした言葉遣いできないと、社会から認めてもらえないという雰囲気を感じるか」という問いに対して、学生と同じ年代の16～19歳では90.8%、20代では73.8%が「そう感じる」「ややそう感じる」と答えている。この調査からも、社会の中ではきちんとした言葉遣いをする必要があると考えている若者が多いことがわかる。本調査結果とも通ずるところがあり、社会の中で良好な関係を築くためには、言葉遣い

が大切であると考えていることがわかった。

大学生活の中で親しみの表現からか教員には敬語を使わない学生もいるが、ほとんどの学生はアルバイトをしており、その職場での関係や接客の経験から、実社会の人たちとの間で実践的な言葉のやりとりをしている。その経験から敬語の使用の必要性や言葉遣いによる人の印象の違いを実体験し、さらに、これまでの学生生活の体験も加えて自分自身の話し方に注意を払い、相手へ気づかいながら話していることがわかった。敬語の使い方にはまだ自信がないけれども、毎日の生活やアルバイトをとおして相手のことを考えながら、言語生活を送っていることがわかった。

敬語の表現によっては、まだ尊敬語と謙譲語の区別がつかなくなかったり、使い方が明確にできなかつたりするが、敬語表現は実際に使うことで身についていくものである。学生には、これからさらに、多くの経験を積むことで、円滑なコミュニケーションができるようになることを期待する。

まだ、敬語に関しての知識が不十分なところがあるが、言葉遣いへの心遣いや敬語の必要性を強く認識している学生に対し、大学では保育園などの実習における実体験に加え、授業でも敬語の知識を身につけられるような取り組みが必要である。敬語表現を指導することが学生への理解とつなげることができる。学生の現状を把握し、保育を学ぶ学生にとって、目指している保育者としての自覚をもち、子どもに対する言葉、保護者に対する敬語など、さらに言葉遣いに対する細やかな意識を強く持てるような言語能力の向上に取り組んでいかなければならないと考える。

謝辞

アンケートにお答えくださった学生の皆様に心より感謝申し上げます。

引用文献

- 1) 文化庁 (2005) 「平成 16 年度 国語に関する世論調査」
- 2) 尾崎喜光 (2009) 『しくみで学ぶ！正しい敬語』ぎょうせい pp. 90-91
- 3) 新村出編 (2018) 『広辞苑 第 7 版』岩波書店 p2973
- 4) 文化庁 (2016) 「平成 28 年度 国語に関する世論調査」

参考文献

- (1) 蒲谷宏編 (2010) 『日本語ライブラリー 敬語コミュニケーション』朝倉書店
- (2) 金子泰子 (1994) 「若者と敬語表現」上田女子短期大学紀要 第 17 号 pp. 31-45
- (3) 佐藤達全 (2020) 「大人になれない保育科学生の指導について—保育実習を通じて気づいた問題点と対応—」育英短期大学研究紀要 第 37 号 pp. 61-72
- (4) 永田里美 (2019) 「国語科教育における敬語指導の課題—一次期学習指導要領の『敬意と親しさ』を見据えて—」明星大学研究紀要—教育学部 第 9 号 pp. 29-42

- (5) 野村敏夫 (2006) 「大学生の敬語意識—桜美林大生のアンケート調査から—」桜美林
大学紀要 日中言語文化 第4巻 pp. 45-64